



令和7年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和6年8月9日

上場会社名 株式会社 オーシャンシステム
コード番号 3096 URL <https://www.ocean-system.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 勝人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員管理本部長 (氏名) 本間 武士

TEL 0256-33-3987

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和7年3月期第1四半期の連結業績(令和6年4月1日～令和6年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
7年3月期第1四半期	22,367	7.7	607	2.8	624	2.4	430	14.2
6年3月期第1四半期	20,769	7.4	591	28.4	609	28.1	501	65.1

(注) 包括利益 7年3月期第1四半期 411百万円 (19.1%) 6年3月期第1四半期 508百万円 (98.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
7年3月期第1四半期	45.73	
6年3月期第1四半期	53.28	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
7年3月期第1四半期	23,064	10,655	46.2	1,131.91
6年3月期	23,648	10,356	43.8	1,100.18

(参考) 自己資本 7年3月期第1四半期 10,655百万円 6年3月期 10,356百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
6年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
7年3月期		7.00		12.00	19.00
7年3月期(予想)		7.00		7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和7年3月期の連結業績予想(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	44,500	6.6	850	16.5	880	16.8	610	21.3	64.80
通期	90,600	5.5	1,700	11.4	1,780	12.0	1,190	11.0	126.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

7年3月期1Q	10,833,000 株	6年3月期	10,833,000 株
---------	--------------	-------	--------------

期末自己株式数

7年3月期1Q	1,419,327 株	6年3月期	1,419,327 株
---------	-------------	-------	-------------

期中平均株式数 (四半期累計)

7年3月期1Q	9,413,673 株	6年3月期1Q	9,413,741 株
---------	-------------	---------	-------------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、株高による資産効果や雇用・所得環境の改善などを背景に、個人消費は穏やかな回復の動きが見られました。一方、円安の継続やエネルギー・食料品の価格高騰による物価上昇は生活防衛意識を高め、加えて、地政学的リスクや世界経済の不確実性から、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

食品小売業界におきましても、長引く物価上昇や実質賃金のマイナスが継続していることなどによりお客様の節約志向は続き、業種・業態の垣根を越えた競争の激化、人件費を含む各種コストの増加により厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、社会環境の変化や働き方の多様化、環境問題の深刻化やテクノロジーの進展といった課題に対して、令和8年度を最終年度とした中期経営計画に取り組んでおります。また、お客様に提供する商品やサービスの質の向上と、業務の効率化とデジタル面の取り組みを強化することにより、企業価値の向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は223億67百万円（前年同期比7.7%増）、営業利益は6億7百万円（前年同期比2.8%増）、経常利益は6億24百万円（前年同期比2.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億30百万円（前年同期比14.2%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(スーパーマーケット事業)

スーパーマーケット事業につきましては、試食会や各種イベント販促を実施しながら顧客獲得に努めたことや、EDLP（エブリデイ・ロープライス）等の価格訴求策が奏功し、来店客数は順調に推移しました。部門別では、当社の特色である非生鮮部門の販売が堅調に推移したほか、天候不順などの影響により、平年に比べ高い水準で推移した青果や鮮魚などの生鮮品の売上も伸長しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は67億6百万円（前年同期比4.0%増）、セグメント利益は2億28百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

(業務スーパー事業)

業務スーパー事業につきましては、地域のお祭りやイベントなどの業務需要が回復するとともに、一部店舗におきましては、青果テナントを改装し産直販売を導入するなど利便性向上に努めたことで、一般のお客様による利用が継続的に増加しております。また、多くのメディアやSNSで継続的に取り上げられたこともあり、来店客数は好調に推移しました。

店舗展開としましては、6月に「業務スーパー見川店」を施設老朽化と売場面積の拡大のため閉店し、「業務スーパー水戸赤塚店」（茨城県水戸市）として移転リニューアルいたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は118億87百万円（前年同期比9.8%増）、セグメント利益は4億86百万円（前年同期比16.9%増）となりました。

(弁当給食事業)

事業所向け宅配弁当につきましては、品質・味・見栄えなどの向上を図るため、メニューの改変などお客様に満足していただけるお弁当作りへの取り組みを続けておりますが、中食との競合や喫食者ニーズの多様化により販売食数は伸び悩みました。

惣菜等の受託製造を行っている千葉工場につきましては、惣菜製造に特化するため宅配弁当の製造をつくば店に移管し、効率化を図ったこともあり、受注商品数は増加し、売上高は堅調に推移しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は24億45百万円（前年同期比5.9%増）、セグメント利益は99百万円（前年同期比24.3%減）となりました。

(食材宅配事業)

福祉施設などへの食材販売を行う「ヨシケイキッチン」につきましては、受託施設数は順調に増加しました。また、主力商品である一般家庭向け食材セット「すまいるごはん」につきましても、子会社合併により販売セット数は増加し、ギフト商品や全国各地から取り寄せた季節商品の売上高も前年に比べ増加しましたが、原材料価格の上昇と子会社合併による経費等の増加によりセグメント利益は減少しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は12億7百万円（前年同期比10.8%増）、セグメント損失は13百万円（前年同期はセグメント利益3百万円）となりました。

(旅館、その他事業)

旅館、その他事業につきましては、旅行代理店からバスツアーなどの送客による昼食利用及び宿泊利用は大幅に増加しましたが、宿泊利用については個人客が多く、定員稼働率は低調に推移し、外食店舗の売上高もコロナ禍以前までの回復には至りませんでした。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は1億21百万円（前年同期比23.7%増）、セグメント損失は21百万円（前年同期はセグメント損失17百万円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ5億84百万円減少し、230億64百万円となりました。これは主に、配当金の支出と法人税等や賞与の支払により現金及び預金が7億97百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ8億82百万円減少し、124億9百万円となりました。これは主に、未払法人税等が3億78百万円、長期借入金が1億84百万円、賞与引当金が1億59百万円、流動負債の「その他」に含まれる未払消費税等が1億28百万円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億98百万円増加し、106億55百万円となりました。これは主に、利益剰余金が3億17百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.4ポイント上昇し、46.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき予想しました結果、令和6年5月14日に公表しました業績予想値に変更はありません。

なお、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。今後、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和6年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和6年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,896,829	4,099,765
売掛金	3,086,873	2,927,598
商品	2,019,268	2,296,045
原材料及び貯蔵品	173,616	182,958
その他	489,370	602,577
貸倒引当金	△1,971	△2,004
流動資産合計	10,663,986	10,106,941
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,753,594	5,734,517
土地	3,131,980	3,131,980
その他(純額)	1,235,397	1,296,743
有形固定資産合計	10,120,972	10,163,241
無形固定資産		
のれん	12,960	11,808
その他	227,705	225,339
無形固定資産合計	240,665	237,147
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	113,608	110,531
その他	2,510,398	2,447,793
貸倒引当金	△912	△1,079
投資その他の資産合計	2,623,093	2,557,245
固定資産合計	12,984,732	12,957,635
資産合計	23,648,719	23,064,576
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,677,303	4,657,229
短期借入金	737,808	745,010
未払法人税等	496,574	118,063
賞与引当金	264,241	105,016
資産除去債務	11,478	11,527
その他	2,660,172	2,459,860
流動負債合計	8,847,578	8,096,707
固定負債		
長期借入金	2,536,392	2,351,940
リース債務	456,424	508,988
退職給付に係る負債	1,580	1,419
役員退職慰労引当金	188,180	184,810
資産除去債務	934,963	941,905
その他	326,892	323,407
固定負債合計	4,444,432	4,312,470
負債合計	13,292,011	12,409,177

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和6年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和6年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	801,710	801,710
資本剰余金	366,781	366,781
利益剰余金	9,893,259	10,210,760
自己株式	△1,169,816	△1,169,816
株主資本合計	9,891,933	10,209,435
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	410,810	393,785
退職給付に係る調整累計額	53,963	52,178
その他の包括利益累計額合計	464,774	445,964
純資産合計	10,356,708	10,655,399
負債純資産合計	23,648,719	23,064,576

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日)
売上高	20,769,345	22,367,950
売上原価	16,075,980	17,332,455
売上総利益	4,693,365	5,035,495
販売費及び一般管理費	4,101,941	4,427,710
営業利益	591,424	607,784
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	3	3
受取家賃	10,508	10,897
その他	32,472	22,253
営業外収益合計	42,984	33,154
営業外費用		
支払利息	6,124	5,501
障害者雇用納付金	10,475	7,475
その他	8,152	3,598
営業外費用合計	24,751	16,574
経常利益	609,657	624,364
特別利益		
負ののれん発生益	104,857	—
特別利益合計	104,857	—
特別損失		
固定資産除却損	1,468	5,737
災害による損失	—	15,181
賃貸借契約解約損	2,819	221
特別損失合計	4,288	21,140
税金等調整前四半期純利益	710,227	603,223
法人税、住民税及び事業税	148,148	91,373
法人税等調整額	60,545	81,385
法人税等合計	208,694	172,758
四半期純利益	501,532	430,465
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	501,532	430,465

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日)
四半期純利益	501,532	430,465
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,562	△17,025
退職給付に係る調整額	2,893	△1,784
その他の包括利益合計	7,455	△18,810
四半期包括利益	508,988	411,654
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	508,988	411,654
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 令和4年10月28日。以下「令和4年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、令和4年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 令和4年10月28日。以下「令和4年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	スーパー マーケット 事業	業務 スーパー 事業	弁当給食 事業	食材宅配 事業	旅館、 その他事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	6,448,969	10,822,083	2,309,857	1,090,503	97,931	20,769,345	—	20,769,345
セグメント間の内部 売上高又は振替高	318	296	133,224	—	1,447	135,287	△135,287	—
計	6,449,288	10,822,379	2,443,082	1,090,503	99,379	20,904,633	△135,287	20,769,345
セグメント利益 又は損失(△)	223,099	416,672	131,214	3,449	△17,102	757,333	△165,909	591,424

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△165,909千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△166,107千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用であり、その主なものは管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

「食材宅配事業」セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間に株式会社ヨシケイ両毛の株式を取得し連結子会社としました。これに伴い、負ののれん発生益104,857千円を計上しております。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	スーパー マーケット 事業	業務 スーパー 事業	弁当給食 事業	食材宅配 事業	旅館、 その他事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	6,706,203	11,887,383	2,445,270	1,207,954	121,137	22,367,950	—	22,367,950
セグメント間の内部 売上高又は振替高	491	313	118,458	4	1,139	120,406	△120,406	—
計	6,706,694	11,887,697	2,563,729	1,207,958	122,276	22,488,356	△120,406	22,367,950
セグメント利益 又は損失(△)	228,222	486,922	99,268	△13,692	△21,994	778,727	△170,942	607,784

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△170,942千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△170,951千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用であり、その主なものは管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日)
減価償却費	226,557千円	242,030千円
のれんの償却額	1,114	1,152